

■ 報告 ■

普段、私は音楽家として生活しておりますけれども、今まで私たちを育ててくれた高知県に対して、何ができるだろうか、演奏を通して何かもっと貢献できるのではないかといつも考えながら生活していました。高知県、県土の84%が森林という森林率が全国第1位の県です。普段私が使っているヴァイオリンは松と楓の木で作られています。高知県は暖かい地域なので、高知の木ヴァイオリンにが使われることがないです。なので、チャレンジではあったのですが、お知り合いになる機会がありましたので、溝渕木材工業の溝渕さんをお願いをして、高知県産材の木でヴァイオリンは出来ないだろうかという話を3年前にさせていただきました。

2024年の9月に早速動いていただいて、1年後に高橋ヴァイオリン工房という四万十町にあります、イタリアのクレモナで10年間修業して帰ってきてくださったヴァイオリン作家がいらっしゃり、その方をお願いして溝渕さんの会社がお持ちの魚梁瀬杉でヴァイオリンを作ってくださいました。1年間一人で作るというのもとても大変なことなんですが、制作費は全部溝渕木材工業さんが持ってくださいました。

表板が魚梁瀬杉、裏板が水目桜で出来ております。普段は全部古い木を使って硬い木で作るのですが、本当に顎当てやテールピースは、この黒いところは固い木じゃないとダメです。黒檀なのですが、黒檀の指板の部分以外は全部県産材で作ってくださいました、特別に。

どのような音がするのか、本当に私も分からなかったのですが、高知県を代表する音にして世界中に響かせたいという熱い想いを溝渕さんもお持ちくださいましたので、何とかそれを実現しようと、今回助成金をお願いしてみました。

やはり、これからを担うのは子どもたちだと思っています。普段からジュニアオーケストラや個人でも教えているのですが、意外と音楽を聴かないです、子どもたちが。習っている子でもあんまり聴かない。何故だろうと、いつも悩んでいます。普段なら、学校に負担していただくところをこちらの助成金によって、いくつか魚梁瀬杉にかかわりのある学校にもうかがわせていただき、たくさん反響を得ました。やはり、そこにかがっても、子どもたちの反応としてヴァイオリンを初めて聴いた、初めて見た、その辺に生えている木がこんなになるのかという驚きもあった、そのような反応をいただき、私も嬉しくなりました。もっと聴いてみたい、意外と大きな音が出るんだね、という反応をいただきました。

始めて1年後にいろいろなところで弾いてきたのですが一ちゃんとしたコンサート会場で演奏したことがなかったので、11月9日に美術館ホールで、どれだけちゃんとしたクラシックの音楽が表現できるのかという実験の思いも込めて、演奏させていただきました。製作者の高橋さんも来てくださったのですが、ホールの後ろまで届く、ちゃんとした楽器だとおっしゃってくださいましたので、これからは自信を持って、県内問わず県外まで演奏して、高知県の音を届けていけたらなという思いでおります。

■ 視察委員の意見・視察 ■

クラシックのコンサートは少し敷居が高いところがあるのかなと思っていたのですが、いろんなところで説明して下さったり、温かい雰囲気の中でコンサートが行われていたことに感動しました。もちろん演奏

は素晴らしく、お客様からも「すごいね」という声がたくさん聞こえてきました。何より嬉しかったのは小さいお子様たちも聴いてくれていたこと。広報をどの様にされたかを聞かせていただきたいのですが、学校の演奏会もメディアで取り上げられていたりして、興味関心は高かったのではないかと思います。

形にしよう、皆さんに聴いてもらおうという思いが溢れていて、いい空間にいさせていただけたと実感する、素敵なコンサートでした。美しい音色を広く県民に届けたいというのがひとつ大きな目標だったので、これをひとつの足掛かりにしていろんなところで演奏を続けていってくださったらいいなと思いました。(織田敦子委員)

ー広報については、自分が演奏する立場なので全て自分で出来なかったところもありますし、たくさんの方に助けていただきました。学校公演に関しては感想がたくさん来て、うちにも来てくださいという声をたくさんいただきましたので良かったと思います。ヴァイオリン一本でもいろいろ出来るんだなという、自分の自信にもなりましたし、子どもたちと音楽を通してのコミュニケーションが感じられた瞬間はすごく幸せを感じました。今後は、助成金をいただいて、せっかく魚梁瀬のため曲を作っていただいたので、いろんなところで演奏出来たら良いなと思いますし、レコーディングもしてみたいと思っています。

■会場からの意見・質問■

- 11月9日、素晴らしい演奏会だったと思います。本当に練習は大変なんです。東京から作曲家兼ピアニストを呼んで、魚梁瀬の、このためのヴァイオリンのための、聴いたら魚梁瀬の森が出てくるような素晴らしい曲(東 秋幸作曲「YANASE」)が初演されたことを、是非、報告書に載せてください。

(追記)

*ヴァイオリンは2025年のウッドデザイン賞を受賞したということです。

